

# 日刊 磐城時報

編輯部 磐城石城郡平町新屋町十四  
印刷部 磐城石城郡平町新屋町十四  
發行部 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 二五九番  
代金 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
廣告料 一行十文字 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
日刊 (日曜、祭日) 休刊

## 本社後援の慰問金募集に 第一校生の奇篤な申出

### 六年生三組で四圓余餘金 伊藤君は雑誌代を寄附

本社後援の滿洲出征軍人に對する慰問金募集は日を送るに及ぶ方面の人々の心を動かす奇蹟的な集まりとなつてゐるが、二日に於ては平第一小學校長會我直治氏から同校尋常六年生一組兒童が小遣錢を持ち寄つて集めた四圓四錢に、

我々六年生一組の生徒が日小遣錢を節約して貯蓄したもので、兵隊さんへ差上げて下さいといふ書状を添えて寄附申込みあり、同時に同校尋常六年生受持の古川訓導は、

平第一小學校尋常六年生三組伊藤實、此度滿洲事變に際して、いたく心を動かされ父より少年俱樂部を買へといふ五十錢をなつた。

平第一小學校尋常六年生三組伊藤實、此度滿洲事變に際して、いたく心を動かされ父より少年俱樂部を買へといふ五十錢をなつた。

## 谷川瀨山林内で 大掛りな賭博開帳

### 七名一網打盡に逮捕

一日午前十時頃から石城郡飯野に分乘し山を包圍し賭博現場に村谷川瀨山林内で賭博前科者が踏み込み格闘の上左記七名を捕集り近來の大掛りな賭博を開帳してゐる事を知り午後一時頃探知した平警察署では草刈巡査部長以下六名の巡査が自動車二臺

## 拾つた三百圓を 親子共謀で分配

### 既報一郡山に於て去月二十六日

既報一郡山に於て去月二十六日領し長男と百五十圓宛分けて常平町に來り長橋町に隠れてゐた面を去つて東白河郡方面で取調中であつたが同人は三つた處一日夜平町に來り橋小長男常平代(二)と共謀して横署二瓶巡査に捕はれた。

## 在滿兵慰問 寄附者芳名

十二月二日正午まで受付の分

- ▲七十七銀行平支店 松本 徳一 五十圓
- ▲三丁目 佐川洋行 五十圓
- ▲隅田川小田鐵業會社 五十圓
- ▲元山職工一同 五十圓
- ▲好問村隅田川炭礦 五十圓
- ▲金拾六圓
- ▲内譯
- ▲二十錢 吉澤富吉、二十錢 會田源藏、二十錢 川合三郎次、二十錢 手塚佐吉、三十錢 箱崎一平、二十錢 箱崎シゲ、二十錢 山崎金次郎、二十錢 鈴木義雄

## 在滿軍人 慰問金品募集

### 皇國のため身を捧げ酷寒の滿洲荒野に在り暴虐極りなき敵軍の出没に寢食を忘れて苦闘を續けてゐる吾出征軍人の辛酸を聞く時吾等は心切かに犠牲的奮闘に滿腔の謝意を抱いてゐる、殊に在滿軍人は東北人が大部分を占め、殊に福島縣人最も多き中、石城出身兵百七十余名の多に於て極めて冷淡であつた事を遺憾としてゐるのである、最近に至り各種團體を始め一般の人々が感謝の誠意を披瀝するに至り慰問金品が續々集まりつゝあるを知り無上の欣快事とする處である、吾等亦遂に黙し得ず皇國のため零下四十度の超酷寒の滿洲に於て邦家守護のため活躍してゐる出征軍人の辛苦を思ひ左の如く在滿軍人慰問金品の募集を開始した次第である。

吾等の意を諒し敢て御賛同あらん事を熱望して止まぬ。

一、一口金五錢以上 (但し金品を問はず)

一、取扱所 平町字二丁目 電話三〇・六四〇番 常磐銀行平支店

平町字三丁目 電話四一四番 七十七銀行平支店

平町字紺屋町 電話四〇九番 磐城時報社

主催 小田 吉治 (電話三二四番) 野崎 滿藏 (電話二一六番) 井上 茂作 (電話六六番) 萩原 久太郎 (電話九番、九九番) 諸橋 義雄 (電話二五九番) 磐城時報社

- ▲常磐銀行平支店 松本 徳一 五十圓
- ▲三丁目 佐川洋行 五十圓
- ▲隅田川小田鐵業會社 五十圓
- ▲元山職工一同 五十圓
- ▲好問村隅田川炭礦 五十圓
- ▲金拾六圓
- ▲内譯
- ▲二十錢 吉澤富吉、二十錢 會田源藏、二十錢 川合三郎次、二十錢 手塚佐吉、三十錢 箱崎一平、二十錢 箱崎シゲ、二十錢 山崎金次郎、二十錢 鈴木義雄
- ▲三太、二十錢 山口音松、二十錢 石川今朝吉、五十錢 鈴木萬藏、二十錢 高野芳彌、二十錢 高野芳文、二十錢 八橋治壽、三十錢 佐伯正胤、二十錢 薄葉虎太郎、二十錢 瀧谷昌雄、二十錢 大瀧榮吾、二十錢 渡邊健治、四十錢 安戸清市、一圓五錢 長澤澤二、十錢 安戸ハル、二十錢 山本清太郎、十錢 渡邊三三、二十錢 相田三郎、二十錢 金澤清治、二十錢 田坂清作、二十錢 早坂新之助、十錢 會田秀作、三十錢 關養右衛門、十錢 野由助、二十錢 笹川三平、三十錢 紺野佐太郎、四十錢 藤坂由三、三十錢 山定四郎、二十錢 佐藤久太郎、二十錢 早坂與平治、五十錢 柴田悟、五十錢 桑澤光雄、五十錢 長澤澤二、二十錢 津田多平、二十錢 大槻岩吉、二十錢 高萩正春、二十錢 志賀由永、二十錢 齋藤次男、二十錢 瀧川勉、計金二十三圓
- ▲常磐銀行平支店 松本 徳一 五十圓
- ▲新川町 磯崎 多助
- ▲磐城時報社 紺屋町 小堀 茂
- ▲金拾六圓
- ▲内譯
- ▲十一錢 野崎 滿藏、十錢 柴田、十錢 鯨岡、十錢 江口、十七錢 北林、五錢 草刈、三十錢 齋藤、四錢 山野邊、十錢 馬目、十錢 橋本、五錢 大和田、五錢 小松、五錢 中島、五錢 白土、五錢 愛澤、十錢 大坪、五錢 椎名、二錢 河相、五錢 佐藤、三錢 古畑、五錢 横山、十錢 小野丈、五錢 西野、三錢 大樹、十錢 青木、八錢 作山、五錢 藤谷、五錢 根本、五錢 荒川、五錢 酒井忠、二錢 多賀、四錢 佐竹、六十七錢 山下、五錢 新妻、二十錢 秋山、五錢 高木重、五錢 小川、五錢 高木軍、二錢 吉澤、三錢 清水、十錢 中澤、十錢 遠藤、十錢 澤、五錢 大友、三錢 川副、十錢 田中、五錢 山家、(以上) 計金四圓七十四錢
- ▲六年生三組 伊藤 實 計金四圓七十四錢
- ▲合計金七拾七圓七拾九錢
- ▲合計金七拾七圓七拾九錢

募集其他に關する費用は主催者に於て引受け寄附金品には一切手を觸れざる事  
◎募集金品發送に際しては陸軍當局の折衝の上適當の方法を採る事

**移轉お知らせ**

此度平町田町七十五番地(元平町役場跡)に移轉致しました。従來の通り一般の診療に従事致します。右お知らせまで。

平町田町七十五番地

**清水醫院**

醫學士 清水 廣政  
電話二三八番

「アシカ」コタツに徳用な

木炭 代用 たどん

製造元 **鈴木炭團製造所**  
平町古鍛冶町杉ノ澤

平町二丁目(警察署通り)

卸小賣所 **魚清水卸部**  
電話四六七番

尙氷の御注文モ電話四六七番へ

移轉御披露謝恩賣出し

椅子、テーブル、机、本箱

其他各種

今般三丁目元郵便局向に移轉擴張記念として十二月一日より十日迄謝恩賣出し可仕候間多少に不拘御愛顧を蒙り度く御願申上候

平町三丁目元郵便局向

**長谷川椅子店**

敬白

マダ御使用ニナリマセンカ

堅牢ト能率ノ上ル三公式ヲ

優秀ナル構造ト

特長アル三公式噴霧器

瓶用文化噴霧器ニ

(ピンナシ)

特價九十錢

器霧噴式掛肩

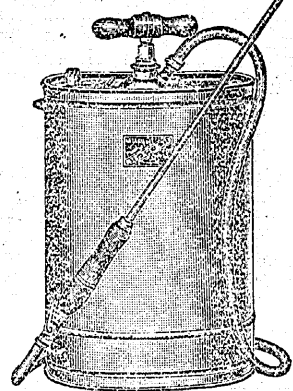
付スーホムゴ入布枚三  
(入升五) 錢十五圓八價特

平町五丁目



**釜屋商店**

電話九九番



◎革靴自製部新設

注文靴。修繕靴

親切。丁寧。請合

◎高級ゴム長靴

◎五圓均一靴

◎各種靴類

マルトモビル内

**菊地靴店**

電話(呼)四三六

**吉田眼科病院**

平町紺屋町 電話六八番

ALFA ROMEO  
1750 cc. 4-Door  
ALFA ROMEO

腸胃科 専門  
腸十二指腸病 淋病 婦人病 皮膚病  
松村胃腸科  
平町南(電話七〇)

大坂大 貯蓄券  
**磐城無盡**  
貯蓄券

かまぼく製  
折詰造

お惣菜用 平町一丁目  
さつま揚 **藤寅**  
吉原揚 電話一四一番

和洋酒 喫茶  
**黒猫**  
KURONECO  
電話679

内科 小兒科  
花柳病科  
**藤沼醫院**  
(入院應需)  
平町紺屋町  
電話平四七〇番